

# 会報 新安土日記第1号

NPO 法人安土城再建を夢見る会

平成29年9月7日

## 日本再生と近江創生（地方創生）に向け、 2026年を目途に、安土城を再建しよう！

安土城は日本一有名な城ですが、観光客が年間7万人であり、松本城100万人、姫路城や名古屋城は200万人と比較して、いかにも少ない状況です。これは、市や県が観光政策に重点をおいてこなかったからです。現在のJR安土駅や町はさびれて、安土城址に登っても荒れ果ててがっかりした。お城でもあればよかったのに。期待はずれという声も耳にする。静かでのんびりしていいという意見もあるが、国の特別史跡のレベルなら200万人来場者がいてもおかしくない。地元を愛する人間として非常に残念な気持ちでいっぱいです。

2026年には1576年着工から数えて安土城450年祭の予定であり、これを目標に2年前に安土城再建を夢見る会を發起し、昨年4月にNPO法人として県に登録し今日まで活動して参りました。漸く会員数も100名を越え8月には会のホームページも開設し、やっと体裁が整ってきたところです。昨年11月に掛川城を訪問し、榛村元掛川市長にお逢いしました。掛川城も二十数年前に城を再建し、天守再建の効果で6千人/年⇒10万人/年と約16倍の来場者になり、町も活気づいたとのことでした。「地道に活動を続けていると、潮目があって自分でも信じられないことが起きるので、あきらめずに頑張ってください。」とエールをいただきました。

安土。この美しい響きの名を持つ安土城。信長の居城安土城は『信長公記』によると、天主は地上六階、地下一階の七重構造。五階とそれに付随する四階屋根部分は、法隆寺夢殿を模したと思われる八角構造となっていた。池上右平の天守指図では天主内部は吹き抜け構造や地下に宝塔があったことがわかり、他に類を見ない豪華で奇抜な城であった。このように唯一無二の歴史を変革した城を再建し、日本の城文化の中心地を皆さんで創生していこうではありませんか！この主旨にご賛同下さる方は是非入会していただき一緒に夢を実現していきましょう！



<安土城想像図>



<吹抜け>



<宝塔>

FACEBOOK

ホームページ <http://yume-azuchijo.org>

Eメール: [azuchijyo.saikenyume.777@gmail.com](mailto:azuchijyo.saikenyume.777@gmail.com)

平成29年9月好日 理事長 尾崎信一郎